

クラス番号	234	ゼミタイプ	サービスラーニング（コミュニティ）型
		担当教員名	杉浦公紀
テーマ	地域住民主体の「ふだんのくらしのしあわせ」づくりを考える		
ゼミナール概要			
【目的】 みなさんは社会福祉協議会という機関を知っていますか。地域福祉の推進に取り組む社会福祉協議会（社協）やNPO 法人では、地域住民やさまざまな関係者と協働しながら、地域ごとに異なる生活課題に向き合っています。このゼミでは、社協やNPO 法人での活動を通して地域の特性や課題、強みを捉え、それらに対して自分たちに何ができるのかを考え、実践することを目的とします。地域を自分の目で見て、人と関わり、肌で感じる経験を通して、自らの福祉観を広げていくことも大切にします。 【学習目標】 ・調べ学習や地域での活動を通じて、その地域が抱える課題に気づくことができる ・サービスラーニングの計画的なゼミ活動を通じて、学生が相互に学び合う姿勢・態度を養うことができる ・地域住民や地域課題に取り組む関係者との関わりを通じて、市民性を育むことができる 【内容】 前期の授業は、社協の役割や機能の理解、活動する地域の特性や課題、活動の目的と内容を考えるための事前学習を中心に行います。そこから、地域の特性や課題、強みを把握し、地域住民がそれぞれに抱く生活の困りごとを少しでも解消するための方策を考えていくことになります。そして夏休みの期間を利用して5日間の活動を行い、後期はその振り返り（リフレクション）をします。振り返りと言ってもただ単に自分たちが行った活動の反省にとどまらず、その経験がその先、地域にとって、あるいはあなた自身にとってどのように役立ちそうかを考えるきっかけにしていきます。活動報告会では活動先の皆さんを招き、学生、教員合同で振り返りをします。その後、皆さんが学んだことを「調査研究」という形でまとめ、更に見識を深めていきます。 【授業計画】 4・5 月 市町村社会福祉協議会やNPO、地域の課題・ニーズを知る 6・7 月 地域貢献活動の計画を練る 8・9 月 市町村社会福祉協議会・NPO での地域貢献活動 10・11 月 活動の振り返りと活動報告会 12 月 グループ研究と調査報告会			
担当教員からのメッセージ			
地域福祉を推進するための方法はたくさんあり、地域特性、自然環境、住民意識など、さまざまな要素によってその姿は変わります。また、推進の方策をマクロ・メゾ・ミクロどのレベルで捉えるかによっても実践の内容は異なるでしょう。大学で理論や目的を学ぶことはもちろん大切ですが、同時に地域の現状を自分の目で見つめること、そしてそこから得られる気づきやアイデアを展開することで、地域をより身近に感じることも重要です。その意味では理論学習と実践の往還が必要だと思っています。ぜひそのプロセスの一端を体験的に学んでみませんか。 本ゼミナールではグループでの活動形式を基本とし、調べ学習や資料作成、研究のための調査活動をグループ単位で行います。また、資料作成や調査を効率的・効果的にすすめるうえで、ノートパソコンがあると便利です。準備されることをおすすめします。			